

金華山ボルダリングでの注意事項

金華山では、歴史的背景、自然環境、法規制など、他のエリアではなかなか見られない、かなり特殊な条件下でのクライミングになります。以下の事項を配慮しながらクライミングを楽しんでください。

金華山について

- 島全体が金華山黄金山神社の神域で古くから霊験あらたかな霊島として知られております。
 - 南三陸金華山国定公園^{*}に含まれ、神社付近を除く大部分が国有地です。
 - 離島であるため珍しい生態系を有し研究対象にもなっています。
- ※「三陸復興国定公園」に昇格予定(時期未定)

【禁止事項】

金華山は南三陸金華山国定公園に含まれており主だったもので以下の行為が法的に禁止されています。

- 木竹の伐採・樹木の損傷
- 焚き火(森林帯での火器使用の自粛)
- 工作物の設置(ボルト・ハーケン・残置ロープなど)
- 幕営(指定幕営地はありません)

【注意事項】

○一般事項

クライミング後のごみの持ち帰りやチョーク跡の掃除、他の公園利用者や島・港の人への積極的な挨拶など、他のクライミングエリアでも推奨されていることは金華山内でも進んで実践するようお願いします。トイレは出航する港、神社境内で事前に済ませるか、携帯トイレを使用しましょう。

○アクセス・アプローチ

離島であること、アプローチが長いこと、クライミングエリアの殆どで携帯電波が届かないことなどから、もしもちょっとした事故や天候急変で船が出なくなった場合、帰りの船との連絡が取れず帰れなくなることが考えられます。また重大事故では搬送ヘリの出動要請をする可能性が非常に高くなります。

地形図に記載されている海岸沿いの林道は、震災の影響の地滑りや崩落で通行が大変危険な箇所があります。岩場へのアプローチや危急時の利用には不適切だと考えています。

○シカ・サルへの配慮

金華山には多くのシカやサルが生息しています。金華山ではシカは神の使いとされており、サルは海藻類や貝を食べるといった他の地域では見られない珍しい行動をするサルとして研究対象になっていることから、餌を与えたりむやみに近づいたりしないようお願いします。また、沢水は動物の糞尿の影響により飲用には適しません。

○ダニ・ヒル

他のエリアでは滅多にない特殊な注意事項として、ダニやヒルへの対策があります。島内にはシカやサルの血を吸うダニやヒルが多数生息しています。樹林帯の中では肌の露出を控え、忌避剤を塗ったり、足元や袖の裾を絞るなど、衣類内に侵入させないようにして下さい。特にヒルは足下から這い上がってきたりするので長靴や登山用スパッツは有効です。